学校番号	1013

平成 31 年度　公民科

教科	公民	科目	現代社会	単位数	２単位	年次	１年次
使用教科書	「最新現代社会　新訂版」（実教出版）						
副教材等	なし						

1　担当者からのメッセージ（学習方法等）

「人間の尊重と科学的な探求の精神に基づいて、広い視野に立って、現代の社会と人間についての理解を深めさせ、現代社会の基本的な問題について主体的に考察し公正に判断するとともに自ら人間としての在り方生き方について考察する力の基礎を養い、良識ある公民として必要な能力を育てること」が現代社会の科目としての目標です。

その目標を達成するために、授業を通して、現代社会においての様々な課題を知り、その課題を克服するための社会の取り組みや仕組みを学び、理解し、現代社会に生きる人間として自分の意見を考え、表現できるようにしていきます。表現方法はレポート・発表です。

2　学習の到達目標

- 現代社会の諸課題について、主体的に考察し解決しようとする態度を育成する。
- 中学校での知識を土台に、政治・経済・国際社会の理解を深める。
- 他者の異なった考えや、価値観を尊重する姿勢を学ぶ。
- 新聞を教材として利用し、新聞を読む習慣をつけていく。
- テレビのニュース等で、日本や世界各地での出来事に日頃から注意させる。
- 主権者の一人として、現代社会の諸課題を主体的にとらえることを学ぶ。

3　学習評価(評価規準と評価方法)

観点	a:関心・意欲・態度	b:思考・判断・表現	c:資料活用の技能	d:知識・理解
観点の趣旨	現代の社会と人間にかかわる事柄に対する関心を高め、意欲的に課題を追究するとともに、平和で民主的なよりよい社会の実現に向けて参加、協力する態度を身に付け人間としての在り方生き方についての自覚を深めようとする。	現代の社会と人間にかかわる事柄から課題を見いだし、社会的事象の本質や人間の存在及び価値などについて広い視野に立って多面的・多角的に考察し、社会の変化や様々な考え方を踏まえ公正に判断して、その過程や結果を適切に表現している。	現代の社会と人間にかかわる事柄に関する諸資料を収集し、有用な情報を適切に選択して、効果的に活用している。	現代の社会的事象と人間としての在り方生き方とにかかわる基本的な事柄を理解し、その知識を身に付けている。
評価方法	学習状況の観察 プリント 授業中の発言	学習状況の観察 授業中の発言 プリント レポート	学習状況の観察 プリント 定期考査の結果	学習状況の観察 プリント レポート 定期考査の結果

上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に５段階の評定にまとめます。
学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。

4　学習の活動

学期	単元名	学習内容	主な評価の観点				単元(題材)の評価規準	評価方法
			a	b	c	d		
1	地球環境問題	・破壊される地球 ・地球環境問題への取り組み	○ ○	○ ○	 ○		a:環境問題に関わる様々な課題に対する関心を自ら高め、意欲的に自分で考えている b:現代社会における環境問題について、自己の関わり方と課題を見出すことができている c:環境問題の資料・データをメディアを使い適切に収集し活用できている d:環境問題に関わる課題を考察する基盤として幸福、正義、公正などについて理解し、その知識を身に付けている	定期考査 プリント レポート
	資源・エネルギー問題	・限りある資源 ・エネルギーの開発と利用 ・人口問題と食料・水資源	○ ○	 ○ ○	 ○ 	○ ○ ○	a:資源問題に関わる様々な課題に対する関心を自ら高め、意欲的に自分で考えている b:現代社会における資源問題について、自己の関わり方と課題を見出すことができている c:資源問題の資料・データをメディアを使い適切に収集し活用できている d:資源問題に関わる課題を考察する基盤として幸福、正義、公正などについて理解し、その知識を身に付けている	定期考査 プリント レポート
	生命科学と情報技術の課題	・人間の生死と生命科学 ・遺伝情報と利用の諸課題 ・高度情報化社会と情報倫理	○ ○	○ ○ ○	 ○ ○	○ ○ ○	a:生命科学や科学技術、高度情報化社会の進展に伴う様々な課題について自ら関心を高め、課題を意欲的に追求している b:現代社会における生命の問題や情報倫理について、自ら進んで課題を見出している c:収集した資料やデータの中から生命や科学技術、高度情報化社会の学習に役立つ情報を適切に選択して活用している d:生命、情報倫理に関わる課題を考察する基盤として幸福、正義、公正などについて理解し、その知識を身に付けている	定期考査 プリント レポート
	青年期と自己の形成	・自分らしく生きる ・人間としてよく生きる ・日本人としての自覚	○ ○ ○	○ ○	 ○ ○	 ○ ○	a: 青年期の意義と自己形成の課題に対する関心が高まっている b:自己の内面形成と社会との関わりに着目しながら自己形成の課題と現代社会における青年の生き方についての課題を見出している c:自己形成の課題に関する諸資料を様々なメディアを通して収集している d:青年期は自己を確立する基礎を培い、心理的、社会的な自立を遂げていく重要な時期であることを理解し、その知識を身に付けている	定期考査 プリント レポート

2	現代の民主政治と日本国憲法	・現代国家と民主政治 ・日本国憲法の基本的性格 ・日本の政治機構と政治参加	○ ○	 ○	○ ○ ○	○ ○ ○	a:現代の民主政治と日本国憲法のあり方に対する関心が高まっている b:現代の民主政治と政治参加の課題を見出している c:現代の民主政治と日本国憲法に関する諸資料を様々なメディアを通して収集している d:民主政治の究極の目標は基本的人権の保障の充実、発展であることについて認識を深め、その知識を身に付けている	定期考査 プリント レポート
	現代の経済社会と国民生活	・現代の経済社会 ・日本経済との特質と国民生活	○ ○	○ ○	○ ○	○ ○	a:現代の経済社会における個人や企業、政府の経済活動に対する関心が高まっている b: 現代の経済社会における個人や企業、政府の経済活動から課題を見出している c: 現代の経済社会における個人、企業や政府の経済活動に関する諸資料を様々なメディアを通して収集している d:重化学工業化、経済のソフト化、サービス化の進展、IT 産業の発展は、それぞれの時代にもたされた発明・発見による技術革新に伴って展開してきたことについて理解し、その知識を身に付けている	定期考査 プリント レポート
3	国際社会と人類の課題	・国際政治の動向 ・国際経済の動向と国際協力	○ ○	○ ○	○ ○	○ ○	a:国際社会の動向と国際政治や国際経済に関する諸問題に対する関心が高まっている b:国際社会の動向と国際政治や国際経済に関する諸問題から課題を見出している c: :国際社会の動向と国際政治や国際経済に関する諸資料を様々なメディアを通して収集している d:冷戦終結後、市場経済化が加速し、国際的な相互依存関係が深まると共に、新興諸国の経済発展などにより世界経済が変容してきていることについて理解し、その知識を身に付けている	定期考査 プリント レポート

※　表中の観点について　a:関心・意欲・態度　　b:思考・判断・表現
c:資料活用の技能　　d:知識・理解

※　年間指導計画（例）作成上の留意点

・原則として一つの単元（題材）で全ての観点について評価することとなるが、学習内容（小単元）の各項目において特に重点的に評価を行う観点（もしくは重み付けを行う観点）について〇を付けている。